

沖縄バイオインフォメーションバンクに登録されている方へ医学系研究のおしらせ

医学系研究「宮古島・久米島におけるヒト T 細胞白血病ウイルス I 型 (HTLV-1)
キャリアの分布と HTLV-1 遺伝子型分布パターンの解明」

この研究は、住民健診を通して得られる沖縄バイオインフォメーションバンクのストック検体を用いて行われます。研究に関する倫理指針では文書による同意取得が原則ですが、本研究のような場合は情報公開でも良いとされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記「問い合わせ先」へご紹介ください。

〈研究目的〉

ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型 (HTLV-1) は、成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) の原因ウイルスであり、沖縄・九州を中心とする西南日本が世界最大の感染分布地域です。沖縄県本島や石垣島では HTLV-1 や ATL に関する調査が進みつつありますが、宮古島や久米島については正確な調査が未だ行われておりません。

そこで、住民健診を通して得られる沖縄バイオインフォメーションバンクの検体を用いて、宮古島と久米島の HTLV-1 感染状況を明らかにします。さらにウイルスのサブタイプを調べることにより、HTLV-1 遺伝子型分布パターンの解明を目指します。

〈研究対象〉

宮古島と久米島で行われた住民健診の際に、沖縄バイオインフォメーションバンクに登録された方が対象です。

〈研究方法〉

琉球大学医学部保健学科 病態検査学講座 血液免疫検査学分野において、沖縄バイオインフォメーションバンクにストックされた対象者の血漿を用いて抗 HTLV-1 抗体を調べます。さらに末梢血細胞から抽出された DNA を用いて PCR 法による HTLV-1 サブタイプ解析を行います。解析結果に応じて年齢、性別、出身地を調べる可能性があります。

〈個人情報の保護について〉

お名前や住所など、直接個人を特定できる情報は利用しません。また、学会発表や学術雑誌へ投稿しますが、個人を特定できる情報は一切含まれません。

〈研究への参加・不参加について〉

本研究は、沖縄バイオインフォメーションバンクに登録していただき得られた検体を使用しますので、新たに加わる侵襲や有害事象はありません。また、新たに診断や治療などの費用負担も発生しません。しかし、ご自身のデータが本研究に利用されることに同意されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。同意されなくても、あなたが不利益を受けることはありませんのでご安心下さい。

〈問い合わせ先〉

琉球大学医学部保健学科血液免疫検査学分野 研究責任者：教授 福島卓也

TEL 098-895-3331 (内線 2652) FAX 098-895-1433